東北応援団 白金支部　活動レポート

2019.8.3～2019.8.4

（東京都港区　四の橋夏まつり）

令和元年8月22日（木）

東北応援団　白金支部

女川町 支援活動レポート

東日本大震災により、亡くなられた方のご冥福を、心からお祈り申し上げます。
また、被災された地域の完全なる復興と、更なるご発展を心からお祈り申し上げます。

1. はじめに

今年の3月で、東日本大震災から8年となりました。東北応援団 白金支部では、今回ご報告させていただく「四の橋夏まつり」をはじめとした東京の催事で女川町のサポートをさせていただく他、四季折々の女川町の魅力を広く知っていただきたく、訪れた女川町の様子をWEBサイトなどでご紹介させていただく活動を続けております。
現在の女川町は、私たちが訪れる度に再建のシンボルでもある駅前プロムナード周辺は進化を続ける姿を見せ、ようやくかさ上げ工事が終わり、建物再建にはいる女川町地域包括支援センター周辺では、このエリアにお住まいでした住民の方々が戻られる目途がたった状況とお伺いしております。

前に進み続ける女川町を応援したく、弊会では今年も「四の橋夏まつり」に女川町観光協会とコラボして出店させていただきました。女川町の名前を一人でも多くの方に知っていただくきっかけとなっていると幸いです。

2. 活動報告

(1)概要

四の橋夏まつり

（日　時） 2019年8月 3日（土） 15:00～21:00
2019年8月 4日（日） 12:00～21:00（女川町ブースオープン15:00～）

（会　場） 港区白金/四の橋商店街

(2)出店の構成

a)　四の橋夏まつり

◆ 女川産さんま炭火焼き ： 販売目標　各日　330尾　　計　660尾
◆ 生ビール2種 ： 販売目標　各日　130杯　　計　260杯
女川ホップペール・アサヒスーパードライ
◆女川産海鮮串焼き　ホヤ:販売目標　各日　60串　計　120串

(4)活動レポート

8月3日（金） 四の橋夏まつり　前日準備

白金支部の地元、白金の橋本様のご厚意で、今年も建物の1階をお借りすることができました。前日の午後からは後方支援の方と、女川町から取り寄せたホヤの串うちをおこないました。

夜8時からは都合がついたスタッフが集まり、翌日からのブース設置、ターフや照明などの設置のお手伝いをさせていただきました。

8月4日（土）四の橋夏まつり　1日目

「四の橋夏まつり」初日、午前中から数名のスタッフが各所からの道具集めを開始、ブースの位置の準備を進めます。毎年の気温上昇に伴い、熱中症の危険が危惧されるため、設営の準備もこまめに休息をとりながらおこないました。

お昼前には、このお祭りの風物詩となりました、秋刀魚炭火焼の秋刀魚とドラム缶などの道具が「愛と勇気とさんま実行委員会」さんより到着、さっそく美味しくするための水抜きと塩ふりを始めます。「愛と勇気とさんま実行員会」は横浜の南部市場の方々の有志の団体で、毎年、秋刀魚焼きの練習会や、女川産秋刀魚の仕入れなどで、大変お世話になっております。 そしてご協力いただいている女川町の漁師の方より、とれたて新鮮！なホタテ貝が到着しました。

炭をおこした2台のドラム缶で秋刀魚焼きから開始します。煙と秋刀魚の焼ける良い香りに足を止め、数名の方がブース前で焼き上がりをお待ちくださいました。 そしてもう1台用意したドラム缶では、ホタテの貝焼きを開始します。今回スタッフで入ってくださった方々の初回ながらのあっぱれな手さばきに見惚れてしまうほどでした。道行く方々も、豪快な炭火のさんま焼き、ほたて焼きに足を止め、写真を撮る方がたくさんいらっしゃいました。

テント内では焼き鳥器を使ってのホヤの串焼きと、ビールの販売です。今年もビールは2種類、女川ホップペールとアサヒスーパードライでした。女川ホップペールは「東京ではめったに飲めない女川ホップペールです！フルーティーで飲みやすいです！」とお勧めすると、ご注文いただき、その場でひと口、「あ、おいしい！」と言ってくださる様子に、スタッフのおススメするモチベーションも高まります。

ホヤ串は、昨年より本数を多くして準備させていただき、珍しさから、ホヤに対してのご質問を多数いただきながら、アピールを行いました。

さんま焼き、ホタテ貝焼きともに皆様にご好評をいただき、19時すぎには完売となりました。

8月5日（日）四の橋夏まつり　2日目

2日目は暑さを考慮して、商店街のお祭り開催時刻の12時より遅れ、前日同様15時に女川町のブースは販売開始となりました。販売時刻前から通りゆく方から何時から買えるの？といったお問合せを多数いただきました。販売開始時刻をお伝えして、ブースの準備を急ピッチで進めました。

秋刀魚を毎年の楽しみに目当てに来てくださる方、ホタテ貝焼きの美味しい匂いにつられる方、お祭りのピークの時間には、ブースには列ができていました。

今年も道を歩くお客様が、このお店は毎年並んでいて人気なのよと、お話しいただいているのを耳にしました。年を重ねるごとに、このお祭りに女川町の名前が定着してきていることを、うれしく思います。

２日目は20時をまわるころにすべて完売し、撤収となりました。

以上をもちまして、この度の活動の報告とさせていただきます。

３. 活動を終えて

「四の橋夏まつり」は女川町観光協会とコラボしての唯一の単独出店、毎回女川町のPRに試行錯誤を重ね、より良いブース作りを目指しております。
皆様にお気づきの点がございましたらご意見をいただきまして、引き続きより良い形の出店をめざしてまいりたいと考えております。
引き続き皆様にお力添えをいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

今回の出店の利益は、女川町の被災した子供たちの放課後スクール「女川向学館」にご寄付させていただきます。

（※）女川向学館
女川向学館とは、NPO法人カタリバが、女川町で被災し仮設住宅での暮らしを余儀なくされた子供達に放課後の居場所つくり、また、
勉強を通して将来への希望を持ってほしい、との思いから設立された学習塾です。

4. 今後の活動

◆麻布十番商店街納涼まつり 2019

【日程】　8月24日（土）　15:00～21:00

　　8月25日（日）　15:00～21:00

◆みなと区民まつり 2019

【日程】　10月6日（土）　11:00～17:00

　　10月7日（日）　10:00～16:00

【場所】　港区芝公園1丁目5番25号付近

　　ふるさと物産展エリア

　　都営三田線 御成門駅　A2出口　芝公園駅　A5出口

　　都営浅草線 都営大江戸線 大門駅 A6出口

【活動内容】

今年も女川のソウルフード、さんますり身汁「女川汁」、ホタテをプラスした「スペシャル女川汁」を中心に、海鮮串焼きシリーズをお届けします。

Bar OWLさんからは女川町の名物となりました「ほやきそば」、ホヤとガーリックがマッチした塩焼きそばです。女川町のクラフトビール「女川ホップペール」は程よいコクとフルーティーな味わいのエールビールです。海鮮串焼き、ほやきそばと共にどうぞ！

そほか女川町の昆布巻きの名店「マルキチ阿部商店」の定番のさんまのこぶまき「アリスの詩」を中心とした、女川町の海産物の加工品をお買い求めいただけます。

5. 補足事項

（1）参加者（敬称略/順不同）

a)　四の橋夏まつり

三上　加寿子	瓜田　創	蜜口　真人	後藤　奈津子
野口　砂絵子	末石　義史	有井　樹理	平井　智子
三谷　嗣朗	坂本　緑	谷中　保大	青木　昭憲
阿部　凛太朗	菅野　励盛度	長南　美樹	工藤　史大

（2）後方支援者（敬称略/順不同）

(故)橋本　翔二	橋本　直	橋本　渉	石川　重美
小澤　雅志	若本　智子	加藤　豊	

（3）支援物資提供（敬称略/順不同）

大門ホルモン焼 夏冬

（5）協 力（敬称略/順不同）

女川町観光協会　　愛と勇気とさんま実行委員会　　四の橋商店街　夏まつり実行委員会

（9）主催元

港区　白金/四の橋商店街　（四の橋夏まつり）

弊会の活動は、皆様のご理解、ご協力のうえで、成り立っております。

本当にありがとうございました。

私たちは、これからも女川町を継続して応援させていただきます。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

令和元年8月23日

東北応援団　白金支部

工藤 史大

※このレポート内にあります画像の流用及び転用は、一切禁止します。

Copyright (C) 2012 Tohoku-Ouendan All Rights Reserved.

★東北応援団 白金支部　WEBサイト★

http://www.onagawa.e-ouen.jp